



ILAS-IIプロジェクト研究追加公募について

環境省ではオゾン層の監視・観測を継続して進めるために、宇宙開発事業団(NASDA)が2002年12月14日に打上げた環境観測技術衛星(ADEOS-II)に改良型大気周縁赤外分光計II型(ILAS-II)を搭載し、今年4月から定常観測を行っています。

ILAS-IIプロジェクトの目的は、ILASに引き続き、オゾンを含む大気微量成分の長期観測により、オゾン層破壊等に関する物理化学過程の科学的解明と、特定フロン規制等の対策効果の検証を行うことにあります。

ILAS-IIでは打ち上げ後、3年間以上の観測が予定されています。ILAS-IIは南北両半球高緯度の高層大気中のオゾン(O₃)、硝酸(HNO₃)、二酸化窒素(NO₂)、亜酸化窒素(N₂O)、メタン(CH₄)、水蒸気(H₂O)、フロン(CFC-11, CFC-12)、硝酸塩素(ClONO₂)及び気温、気圧、エアロゾルの鉛直分布を測定対象としています。

ILAS-IIプロジェクトにおいても、ILASプロジェクトと同様に、国立環境研究所が科学的側面の支援ならびにデータ処理運用を担当しておりますが、当プロジェクトの推進には、引き続き国内外の研究者の参加とご支援を頂くことが不可欠であると考えております。

このような研究者の参加招請としては、ILAS-IIプロジェクトでは1999年10月に、NASDA、環境省、米国

航空宇宙局(NASA)、仏国国立宇宙センター(CNES)の共同により、ADEOS-IIプロジェクトに関する研究公募(Joint Research Announcement: JRA)を行って、厳正なる審査の上、研究課題を採択しました。この度、研究課題採択後の成層圏科学の進展やILAS-IIデータの提供態勢の充実を踏まえて、当プロジェクトでは国内外の研究者を対象に、ILAS-IIデータを利用した研究をより広く推進して頂くことを目的に研究提案の追加公募(Late Proposal Research Announcement: LPRA)を行うことと致しました。

詳細は、ILAS-IIホームページ：

http://www-ilas2.nies.go.jp/index_j.html

をご覧の上、研究課題提案を下記事務局までお寄せ下さい。研究課題提案応募の締め切りは2003年10月31日(金)を予定しています。

なお、研究追加公募についての質問等のお問い合わせは、下記ILAS-IIプロジェクト事務局宛にお願い致します。

連絡先：独立行政法人国立環境研究所

成層圏オゾン層変動研究プロジェクト
衛星観測研究チーム

ILAS-IIプロジェクト事務局 篠木誓一宛

電子メール：project@ilas2.nies.go.jp

住所：〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2

電話：029-863-3873, Fax: 029-863-3874